

# 会計人の教養

6



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院熊本校

2016 JUNE

## 朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p><b>進行役</b>：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る</li> <li>★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む</li> <li>★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」</li> </ul> <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

# 会計人の教養

## 6

ひとりひとりが経営者

30	29	28	27	25	24	23	22	21	20	18	17	16	15	14
木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火
就職活動	青春	人との付き合い方	奇跡の日本酒	ものの見方	人生の分岐点	カラーマーケティング	C S R	夏至	電卓戦争	父の日	梅雨	外郎売り	若っ人ランド	バカ
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※1日から12日は、日商簿記模擬試験のため、朝礼を行いません。  
※13日は、日商簿記検定の振替休日のため、朝礼を行いません。



# 2016 JUNE 平成28年 水無月[みなづき]

第2巻6号(通算12号)

## 【月初のつぶやき】

九州が梅雨入りしたとのことでしたが、ここ数日、雨も降らず、じめじめした暑さや、からっとした暑さが続いており、夏の始まりを実感させられます。急な環境変化を迎えていますので、体調管理には気を付けてください。

さて、今月は日商簿記検定があり、来月は全経簿記検定も実施されます。そして再来月には税理士試験もありますので、すべての学生が、日頃の学習の成果を発揮できるよう、適度な緊張感をもって学んでいます。ぜひ、この緊張感を保ち続けてほしいものです。

大地震という恐ろしい経験をして、心に傷を負った人もいますが、それを乗り越えるために必死に頑張っている姿を見ていると、これからどんなことも乗り越えていけるようにも思えます。自信を持って進みましょう！

今月の目標

「バカ」という単語だけを聞いて、良い印象を持つ人は少ないのではないのでしょうか。

しかし、使い方によっては良い印象を与えてくれます。その代表例が親バカです。親

バカとは、我が子に「並外れ」の愛情を注ぐ親の姿が表現されています。

また、最近では、仕事に対して並外れた執着心を持って努力する姿を表現した、仕事バカという言葉も耳にします。

このように、バカとは単なる悪口などではなく、何かに対して、並外れた感情や意識をもって行動している人たちを表現している言葉でもあります。

「バカ」に対するマイナスのイメージを払拭<sup>ふっしょく</sup>し、プラスのイメージであることを認識したいものです。そして、私たちも、良い意味でバカになりましょう。

今日の心がけ◆バカになりましょう。



テレビ熊本（TKU）で、30年以上も続く最大の長寿番組であり、特に県下の中高生を初めとする若者から、絶大な人気を誇るローカル情報番組に「若っ人ランド」があります。

番組名は、「若者の場所」という意味に加え、熊本弁で「分かっていないでしょ!？」を意味する「分かったらんど〜!？」をかけているそうです。

現在は、高村公平さん<sup>たかむらこうへい</sup>、緒方由美さん<sup>おがたゆみ</sup>を中心に、楽しい会話を通して、話しやすい空気を作り出し、高校生クイズや学校・生徒の紹介等、様々な人気コーナーを牽引しています。

これからの未来を背負っていく、熊本の若者の現在<sup>いま</sup>に着目し、応援してくれる、この番組の存在意義はとても大きなものではないでしょうか。

私達も取材をして頂けることに感謝し、ひとりひとりが信念を持って、熊本や日本を支えていけるような人財となるために努力していききたいものです。

今日の心がけ◆毎週土曜の夕方4時はTKUをつけましょう！

私たちが朝から暗唱あんしやうしている「外郎売りういろう」とは、歌舞伎かぶきの演目のひとつであり、今日こんにちでは、その劇中のセリフを用いて、アナウンサーや声優の滑舌かつぜつの練習が行われています。

始めたときは、「これに意味はあるのか」「朝からきついな」と思っていました。

しかし、日々、回数を重ねていく中で、だんだんと滑舌が良くなってきていることを実感してきており、今では少しずつ好きになりつつあります。

「外郎売」のように一見意味のないように見える事でも、実は知らず知らずのうちに自身の力とすることができまます。

論語にも「知好楽ちこうらく」という言葉があるように、最終的に、何事においても楽しむことができるようになれば、これからの人生をもっと豊かなものにできるのではないでしようか。

今日の心がけ◆何事も、楽しみましょう。



「今日は雨だからやる気が出ない」と言ったことはありませんか

実は、雨の日に気分が落ち込むというのには、科学的根拠があったのです。それには、気圧が関係しているといわれています。

雨の日の気圧は、晴れの日と比べて低く、体内の水分が膨張し、血圧が低下します。そうすると、頭痛や「うつ」を起こしてしまう可能性があるのです。

しかし、雨だからやる気が出ないことを言い訳にしてはいけません。そのためには、雨の日の楽しみを見つけることがやる気を出すために必要です。例えば、紫陽花あじさいを眺めるなどいかがでしょうか。

これから梅雨の時期に入ります。みんなの気分が落ち込む中で、どれだけ頑張れるかが成長できるかどうかのポイントになると思います。

今日の心がけ◆梅雨とうまく付き合いましよう。

6月の第3日曜日は、父の日です。母の日に、母には感謝を伝えていても、父の日は、気づいたら過ぎてしまっていたという経験があるのではないのでしょうか。

母親とは悩み事の相談相手として良く話しても、父親とはあまり話さない人もいますかと思えます。子育ての中心は母親である家庭が多いため、父親に比べて母親の方が感謝の気持ちを伝えやすいのかもしれませんが。

現在は、「男は仕事、女は家庭」という固定観念こていかんねんではなく、男女共に仕事をし、家事を分担していくのが理想の形だという傾向が進んでいます。

家事や育児を父親が担う過程になで育った子供は、父親にも感謝を伝えやすくなるかもしれません。

父の日に今まで何もしたことがない人は、思い切って何かをプレゼントすることで、父親は喜んでくれると思います。感謝の言葉を添そえるとなおいいかもしれませんね。

今日の心がけ◆父親に、感謝の言葉を伝えましょう。

みなさんは、電卓戦争というものを知っていますか。

1960年代後半から1970年代にかけて、日本では電卓産業が盛さかんになり、最盛期さいせいきには参入企業が50社以上もありました。その各社が熾しれつ烈な開発競争・価格競争をおこなったため、電卓戦争と呼ばれていました。

今でこそ私たちはとても気軽に電卓を使っています。しかし、当時の電卓は、重さ20kg、サイズは40cm前後、価格も40万円から80万円で、今とは違うことだらけです。

最終的には、カシオとシャープなどの数社が生き残る結果となりましたが、マイクロプロセッサや太陽電池など、電卓戦争は素晴らしいものを生み出してくれたと言えます。

みなさんが使っている電卓には、戦争と呼ばれるほどの激しい開発たずさに携たずわった方々の情熱が注ぎ込まれています。その情熱を感じながら使ってみることも、大切なことかもしれません。

今日の心がけ◆電卓の歴史を感じてみましょう。

最近、日が長くなってきたと感じることはありませんか。夏至とは、24節気の一つで、一年で昼が最も長く、夜が最も短い日を指します。

夏至の日は、15時間ほど太陽が出ています。夏至と昼と夜の長さがまったくの真逆となる冬至の日は、太陽が出ているのは9時間ほどになるため、一年で最も昼が短い冬至の日と比べると、なんと約6時間も昼が長いといえます。

また、夏至は日本独自のものではなく、古代から世界各地で、太陽の生命力を得るために、夏至の日を祝う祭りが開催されてきました。特に、冬が長い北欧では、日差しが貴重なため、夏至の日を国民の祝日として定め、現在でも祭りをするほど待ち焦がれた日となっています。

夏至や冬至もその一つである24節気には、春分と秋分も含まれています。この二つは日本がもともと農耕民族であり、春分の日には秋の豊作を願い、秋分の日には秋の収穫を祝うという意味で、日本の国民の祝日として定められました。今までは、祝日である春分と秋分のみ注目しがちでしたが、これからは夏至や冬至にも意識して、日本の四季を感じ取ってみるの也不错かもしれません。

夏至は「夏に至る」と書くように、夏至を過ぎると本格的な夏の到来です。日の恵みに感謝し、そして、昼や夜の長さで季節の変わり目を感じてみましょう。

今日の心がけ◆太陽に感謝しましょう。

みなさんは、CSRという言葉を知っていますか？CSRとは、「企業の社会的責任」という意味です。

企業は、事業活動を続けていくにあたり、従業員、顧客、取引先、消費者、株主、地域社会など様々な利害関係者と関わっています。

その利害関係者と良好な関係を維持するために、納税や法令順守じゆんしゆといった当たり前  
の事から、環境への取り組み、地域社会への取り組みなど企業が果たさなければなら  
ない課題に取り組む必要があります。

このような取り組みは、企業が長く存続することにも必要不可欠なことであり、また、  
社会全体にも大きな影響を与え、経済を活性化させるきっかけにもなります。

企業にも、社会的な役割があるように、私たち個人にも様々な責任があります。私た  
ち自身が今、どういった責任があるのか、社会のためにどのようなことをしなければな  
らないのかを考え、日々の生活を過ごしてみてはどうでしょうか。

今日の心がけ◆自分たちの役割を考えましょう。

色は、日常生活だけでなく、ビジネスの世界でも様々な影響を与えます。

例えば、心理学的に視認性の高い赤色は、自己アピールに向いている色です。また、購買色こうばいともいわれ、赤色を入れるかどうかで売り上げが20%変わるとも言われています。コミュニケーションの色といわれる黄色は、ネクタイや小物にアクセントとして取り入れることで、初対面の人に明るく良い第一印象を与えます。

青色は、時間を短く感じさせ、疲労軽減ひろうけいげんの効果があるため、単純労働の世界でユニフォームとしてよく利用されています。さらに濃い青色は、人間関係に距離を置く色であるため、緊張感と適度な競争意識を生みたい管理職におすすめてです。

その他にも、絶対に譲れない交渉ゆずの時には黒色を、慎重かつ堅実けんじつな方向性の結果を求める会議には茶色を取り入れることで、良い効果がもたらされることでしょう。

このように、色のもつ効果を知り、利用することで、うまくビジネスチャンスに繋げることができるともいけませんね。

今日の心がけ◆色をうまく使いこなしましょう。

みなさんは、人生の大きな分岐点に立ったことがありますか。

例えば、進学や就職をする際には、たくさんの選択肢の中から、大きな決断をしなければなりません。

その時に、大切になってくるのは、「自分がどうなりたいか」ということです。

自分の将来を描いておくと、決断するときには役に立ち、自分が思い描くような人生が送れるはずです。

ですから、大きな決断をするときは、自分の将来をイメージすることが大切です。

今日の心がけ◆自分の将来をイメージしましょう。



ものの見方や考え方は、人の数だけ存在します。「事実の一つ、解釈は無数」という言葉にもあるように、同じ事実にも拘らず、その事実の捉え方は十人十色です。

前向きな人をポジティブ、後ろ向きな人をネガティブとよく言われますが、私はこの両者の本質的違いは、起こり得た事実の捉え方にあると思います。

起こり得た事実をプラスに捉えるか、マイナスに捉えるかによって、人生の明暗は大きく左右されるのです。

どんなに酷い出来事が起きようと、その捉え方や解釈を変えれば、物事の見方も変わってきます。逆境は全て自分を磨く試練だと考え、何事もプラスに解釈することが大切です。

人間生きていけば様々な出来事が起こります。今日一日の中で起こる出来事の捉え方を、少し変えてみると面白いかもしれません。

今日の心がけ◆ものの見方を変えてみましょう。

この40年間で、市場規模が3分の1にまで縮小している日本酒。そのような中、破竹の勢いで売上を伸ばしているのが、山口県の旭酒造が造る純米大吟醸酒、通称「獺祭」です。

獺祭は、「酔うため、売るための酒ではなく、味わう酒を求めて」という信念に基づき造られ、ヨーロッパで最も権威のある食品コンクールとされるモンド・セクションにおいて最高金賞を受賞している、名実ともに世界に認められた日本酒です。

いまや日本最高峰の日本酒の1つであるである獺祭ですが、その裏側には旭酒造の経営者である桜井博志氏の常識を覆す画期的な経営手法があります。

また、旭酒造では、高い品質と精度を提供するために、精米して雑味となるタンパク質等を取り除く、いわゆる「磨き」と言われる作業にこだわっています。磨けば磨くほど時間とコストがかかりますが、それらを度外視し徹底的に磨き上げること、獺祭は造られます。旭酒造には良いお酒を造ろうという共通した志を持った社員が集まっており、彼らの心が獺祭を支えているのです。

みなさんも一度、獺祭を味わってみてはいかがでしょう。

今日の心がけ◆獺祭を味わいましょう。

みなさんは、これまで、いろいろな人に出会ってきたと思います。そして、これからも沢山の出会いがあると思います。そのような中で、重要なことは、「人との付き合い方」です。

約千年前の中国で孔子先生こうしが遺された、論語の書物の中に、次のような章句があります。「子貢問うて曰く、一言にして以て修身しゅうしんこれを行ふべき者ありや。子曰わく、其れそ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」

恕とはおもいやりのことで、孔子先生が弟子である子貢に「一生をかけて行ふ価値のあるもの」について聞かれたときの言葉です。

「自分がされて嫌なことは、人にはしたらいけない」だれもが小学校のころ聞いたことがある言葉でしょう。しかし、そうした当たり前のようなことが実は難しく、なかなか全うすることが出来ない人が多いのが現実です。

社会人となるまで、あと一年という今、もう一度自分を見つめ直してみたいものです。

今日の心がけ◆思いやりの心を持ちましょう。

青春。それは十代で経験する甘酸っぱい思い出、放課後の教室、ある日の歩道橋、夕焼けの土手…などというイメージを抱く人が大半でしょう。

しかし、果たして十代だけが青春を味わえるものなのでしょうか。いや、それは違います。

確かに青春とは、『生涯において元気な時代、主に青年時代を指す』とウィキペディア先生もおっしゃっていますが、何も青年時代に限定しなくても良いのではないのでしょうか。

「生涯が青春」という方もいるのですから、人生やりがいを持って生きていけば人生そのものが青春に成り得るのです。

40歳になったとしても、50歳になったとしても、「あの時は若かった」と振り返るのではなく、「青春真ただ中」と高らかに宣言しようではありませんか。

今日の心がけ◆レッツ、青春。

みなさんは、就職活動に対してどのような意識を持っていますか。就職活動をするこ  
とで、心身ともに疲労を感じてしまうこともあるでしょう。

しかし、その反面、たくさんの方々の企業や、社員の方々との出逢いがあります。自分を見  
つめなおす機会にもなるため、これまで知らなかった新しい自分に出逢えます。そして、  
いろいろな考え方も出逢えます。

私たちは、必要な時に、必要としている何かと出逢えるといわれています。

これらの出逢いを通して、私たちは縁の大切さを実感し、視野が広がることで、たく  
さんのことを得ることができます。そして、それらが自分の成長へとつながるものにな  
ると思います。

何のために働くのか、何のためにその企業なのかなど、常に目的を持って就職活動を  
していきたいものです。

今日の心がけ◆目的を再確認しましょう。